

# 平成30年度 自己評価結果報告書

社会福祉法人ゆうゆう 認定こども園 すみよし愛児園

## 1. 本園の教育・保育目標

当園では理念として『素朴に丁寧に純真に忍耐強く、子どもを軸として連動する絆を結び、未来社会への人づくり、国づくりの基礎(基盤)力を育む』を掲げています。また、教育保育目標として、目指す乳幼児像は次の3項目になります。

- 1、思いやりのある子ども                      2、意欲のある子ども                      3、生活の中での決まりの守れる子ども

## 2. 重点的に取り組んだ目標・評価

昨年度見直しを行った指導計画を基に保育を展開し、さらにそれらを実践記録として残し、検証を行うという目標を立てた。

保育者として未熟な部分はあるが、記録に残すことで、日常の関わりを見直し、子どもにとって何が重要かという共通の視点をもとに職員間で振り返りを行うことができた。今後も継続して行う。

## 3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	取り組み状況
特色を生かした保育を計画し、実践していく。また、評価反省を行う中で、子ども達の情緒が安定し、自己発揮できるような保育を目指していく。	自然豊かな園の環境を活かして、表現活動を十分に行った。昨年度に引き続き、食育活動や自然体験、森の活動等には今年も積極的に取り組み、子どもの興味関心が広がった。
認定こども園としての専門性を保育者一人ひとりが理解し、教育保育の質の向上を図る。	法人内の他園と連携し、事例を持ち寄り研修会を行ったり、年間を通して保育記録に力を入れてきた。記録に関しては定型文を利用することなく、各保育者自身が自分のことばで語ることを大切にし、一人ひとりの子ども達の育ちにしっかりと目を向け、それを語る力の向上にも努めてきた。
日々の健康観察や疾病予防のための取り組み、衛生管理等を行い、子ども達が安全で安心な生活が送れるよう努めていく。	衛生用品や防災用品の点検の徹底、毎月の防災訓練、看護師による日々の健康観察や保健指導、環境整備等を実施した。看護師が専門的な立場で他の職種の職員に指導も行き、知識を深めるようにも努めた。今後も更なる徹底と計画的な取り組みを実践していく。

## 4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

職員全体が課題の重要性を理解し、時間を工夫しながら記録を作成したり、語り合う機会を作りながら、教育・保育の充実に努めた。今後も客観的に自らの教育・保育を振り返り、専門性の向上に努めていきたい。また、あらゆる職種の職員配置がある強みを生かし、昼礼および職員会議など情報交換を密にし、様々な角度から必要なかわりや環境設定について見直すことができている。今後も継続して行なっていく。

## 5. 今後取り組むべき課題

保育内容・保育環境の充実	認定こども園教育・保育要領の理解、教育保育計画・内容の検討、より良い環境構成などをベースに、継続的に記録の振り返り(研究)を行い、職員間で共通理解のもと保育が進められるようにしていく。
危機管理(衛生管理・安全管理)	生活の中で起こりうる事故について職員全体で把握し、ヒヤリハット記録の活用や研修を積みながら怪我の対応や子どもの命と安全を守る行動が出来るしっかりとした園の体制を見直す。また子どもの生活習慣の見直しや衛生的で安全な環境についても常に配慮し、家庭と連携しながら子ども達の健全な育ちを支えていく。
子育て支援への取り組み	保育教諭・栄養士・看護師などそれぞれの職種を生かしながら、在園家庭はもちろん地域の子育て家庭に向けても必要な情報提供や相談などを行ない、安心して子育てが行なえるような地域づくりに努めていく。 また、特別な支援の必要な子どもに対し、適切な指導や援助、関わりが持てるよう専門機関と協力しながら指導計画を作成し、実践していく。

## 6. 学校関係者の評価

学校関係者より、認定こども園運営は良好とのご意見をいただいた。世の中ではIT化が進む中、子ども達一人ひとりの表情や声、行動などを受け止め、より良い関わりを見つけようとする職員の姿を認めていただき、今後も継続して大事にして欲しいと励ましの言葉をいただいた。